

ハワイ日本人移民

150周年から考える



10月5日・12日・19日・26日 (毎週金曜日) 17:00～19:00 (開場: 16:30)

立命館大学 衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

第1回
10月5日(金)

生活と移民

報告① 「元年者」とハワイ
ーハワイにおける日本人移民の始まりとその後ー
小川 真和子 (立命館大学)

報告② 「太平洋の交差点」の日本仏教
ーグローバル化とローカル化の交錯ー
守屋 友江 (阪南大学)

司会 小川 真和子 (立命館大学)

第2回
10月12日(金)

文学と移民

報告① 太平洋戦争期のハワイにおける日本人移民女性の文学
ー歌人・安井松乃と『馬哇新聞』ー
北川 扶生子 (天理大学)

報告② ハワイ黎明期の日系日本語文学
篠田 左多江 (東京家政大学・名誉教授)

コメント 田口 律男 (龍谷大学)

司会 内藤 由直 (立命館大学)

第3回
10月19日(金)

記録と移民

報告① 音盤は時代をつなぐ
ー二世楽団の時代からカラオケの時代へー
中原 ゆかり (愛媛大学)

報告② ハワイと故郷の島を結ぶ
ー山口県周防大島町沖家室島の雑誌「かむろ」よりー
安井 真奈美 (国際日本文化研究センター)

司会 ウェルズ 恵子 (立命館大学)

第4回
10月26日(金)

教育と移民

報告 京都女子専門学校で学んだハワイの日系人
坂口 満宏 (京都女子大学)

コメント 神田 稔 (株式会社神田育種農場 代表取締役)

司会 河原 典史 (立命館大学)



主催: 立命館大学国際言語文化研究所

ハワイ日本人移民

150周年から考える

企画趣旨

2018年には、ハワイへ移民を送り出して150年を迎える。その後、日本人はアメリカやカナダ、やがてブラジルやペルーなどの南米へも移民を送り出した。差別や排斥と闘いながら、彼らは現地で定住・同化し、日本人移民史を構築していった。彼らの移住は日本文化の移動を生み出し、なかには現地で変化が生じたものもみられた。また、移住先から祖国・日本へ新しい文化が持ち込まれることもあった。本連続講座では、ハワイ移民を中心に新しい移民史研究の飛躍をめざしたい。

第1回

10月5日(金)

生活と移民

本年は日本で最初の集団移住者がハワイへ向かって150周年となる節目の年である。同じくグアムへの移住が150周年、ブラジルが120周年、キューバも同じく120周年、ウルグアイ110周年、そしてベネズエラも90周年に当たっている。そこで講座の第1回目では、まず日本人が海外へと拡散するに至ったグローバルな文脈について俯瞰し、続いて最初の集団移住先であるハワイで日本人が築き上げたコミュニティと生活について、仕事や家庭、そして信仰といったローカルな視点から見てみる。

第2回

10月12日(金)

文学と移民

日本からハワイへ渡った移民たちは、現地で新聞・雑誌を発行し、それらの中に豊かな文学表現を残した。しかし、移民たちの文学的営為は、日本文学ともアメリカ文学とも認められず、国家国民の文学史の狭間で埋もれたままとなっている。では、日系ハワイ移民たちの文学は具体的に、いかなる表現を作り出したのだろうか。また、残された作品群をどのように評価することができるだろうか。本講座では、日系ハワイ移民たちの文学に照明を当て、彼らの表現から浮かび上がってくる日本(人)とアメリカ(人)との境域の問題について検討していきたい。

第3回

10月19日(金)

記録と移民

ハワイ日系人たちは文化に生活の記録を刻みつつ、集団的記憶を醸成・継承してきた。音楽や盆踊り、交流会や雑誌の発行などといった文化活動は、互いのつながりを深めると同時に共同体意識を形成する助けとなり、世代間の交流を促した。また日本との関係性を確認し、日系人としてのアイデンティティを確立する役割も果たした。第3回では、ハワイにおける日本の音楽・芸能の文化活動に記録されたハワイ日系人の日本とのつながりを探りたい。

第4回

10月26日(金)

教育と移民

ハワイへの移民は明治初年に始まり、1885年から10年続いたハワイ官約移民で本格化した。その後もハワイに移り住む日本人は増え続け、1930年代には4万人近い日本人(一世)と12万人余りの二世が暮らしていた。ハワイに渡った人々はサトウキビ畑の周辺に集住し、教会や仏教会のお寺を建て、二世のために日本語学校を設けた。そして1930年代になるとハワイの中学や女学校に進んだ二世のなかから、日本で教育を受けるため来日するものが増えてきた。日米関係が悪化し始めた時代、ハワイからやってきた女子学生たちは何を学び、どのように生きていたのか。ある女学生のルーツとともにこの問題を考えてみたい。

アクセス

立命館大学 衣笠キャンパス

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

- JR・近鉄 京都駅より 市バス50・205
- JR 円町駅より 市バス15・204・205
- 阪急電車 西院駅より 市バス205
- 阪急電車 大宮駅より 市バス55
- 地下鉄 西大路御池駅より 市バス205
- 京阪電車 三条駅より 市バス15・59

- 市バス15・50・55・59にて「立命館大学前」下車/徒歩5分
- 市バス204・205にて「衣笠校前」下車/徒歩10分 東門



お問合せ先

立命館大学国際言語文化研究所

TEL: 075-465-8164 E-mail: genbun@st.ritsume.ac.jp

URL: http://www.ritsume.ac.jp/acd/re/k-rsc/lcs/lcs_index.htm